

財団法人 神奈川県動物愛護協会

2010年度事業報告書

＜○…達成 △…一部達成 ●…未達成＞

[1. 事業活動方針]

○施設における犬猫の保護・譲渡、各種相談への対応、付属動物病院における人畜共通 伝染病予防、動物間感染症予防や動物の治療を通して、広く一般に動物愛護精神や飼育知識を普及し社会に貢献する。

○不妊去勢手術の強力な実施と啓発活動により、犬猫等の繁殖制限を行い、動物遺棄という違法行為やノラ猫の繁殖をなくすための努力を惜みず、人と動物とのよりよい共存の為に寄与する。

○動物愛護法及び基準の見直しを受けて変更された内容を把握し、実地への検証を行うと共に、国の指針を受けて作成される県の指針作成に積極的に参加する。

△施設で行なう犬猫等の保護・譲渡、相談業務の他、ペットとして輸入された外来種の問題や動物愛護法に含まれながらも愛護動物として扱われていない家畜や実験用動物等の問題にも取り組むことを目標とする。

上記事業の円滑な運営のために、総務部会、動物愛護推進部会の二部会を設け、各部会は複数の委員会で構成され活発な活動と連携により事業を遂行致します。

[総務部会]

＜総務委員会＞

事務局及び職員の管理並びに運営上の金銭出納、保護動物の飼育管理及び医療業務維持

＜広報委員会＞

「動愛だより」発行、写真展の開催、パンフレット作成、動物愛護精神の啓発

＜会員委員会＞会員管理及び増強

＜施設改善委員会＞協会の収容施設等の環境整備・改善

＜募金・渉外委員会＞

街頭募金の開催、募金箱設置管理、安定的な餌の供給及び各種寄付の促進

[動物愛護推進部会]

＜不妊去勢手術推進委員会＞不妊去勢手術の推進と啓発、ノラ猫捕獲等関連相談への対応

＜バザー委員会＞バザーの開催、バザー用品の収集等

＜保護譲渡追跡委員会＞

収容動物の里親探しの実施、譲渡後の動物の追跡調査及び里親との連絡

＜動物問題対応委員会＞法的な相談、外来種等の問題対応及び研修会の実施など

＜青少年育成委員会＞青少年への動物愛護精神の養成及び見学研修補助

[2. 事業内容]

1. 動物生命尊重と動物の適正飼育推進及び共存のための活動

ア 動物の保護及び譲渡活動

●犬猫等の保護譲渡を指導的な立場で行い、目標頭数を年間 150 匹以上とする

継続保護数 犬20匹(5) 猫34匹(2) その他10匹 合計64匹(7)

新規保護数 犬32匹(2) 猫76匹(67) その他2匹 合計110匹(69)

譲渡数 犬29匹(7) 猫72匹(59) その他0匹 合計101匹(66)

死亡数 犬2匹(0) 猫7匹(2) その他1匹 合計10匹(2)

現在数 犬21匹(0) 猫31匹(8) その他11匹 合計63匹(8)

※()内は幼齢個体内数

※新規保護された動物のうち、その他はフェレット(死亡)、ハクビシンだった。

△保護犬猫の CP 管理…保護犬猫の写真・経歴・性格・健康状態等詳しくリスト化

△譲渡犬猫の CP 管理…譲渡後の経緯または連絡等をシステム化する

○犬猫等の譲渡に関する寄付金は基本的に 10,000 円とする。(ワクチン、不妊去勢済)

○飼い犬猫等の保護に関する寄付金は、基本的に猫 20,000 円、犬 20,000～50,000 円(大きさによる)とし、拾得の子猫に関しては基本的に 1 匹当り最低ワクチン費用として 3,000 円のご寄付を頂くようにする。

(譲渡方法)

○施設での譲渡

○毎月2回以上、他所での里親探し(毎月2ヶ所、隔月1ヶ所予定)

→総開催数:24回(PETON 鎌倉・美しが丘「ルッカ」にて月1回ずつ開催)

△年間5回以上里親探し行事への参加

9月27日:横須賀動物フェスティバル(参加:12頭 譲渡:6頭)

10月3日:神奈川県動物フェスティバル(参加:7頭 譲渡:3頭)

10月18日:逗子市民祭り(参加:6頭 譲渡:2頭)

○インターネットを使用しての里親探し

イ 動物に関する相談への対応

総電話件数:8,842件

【内訳】

・診療相談	2,669件
・保護依頼相談	738件
・里親探し相談	131件
・傷病動物に関する相談	73件
・譲渡に関する相談	416件
・迷子・逸走に関する相談	119件
・里親先からの相談	149件
・その他、保護譲渡に関する相談	58件
・ノラ猫に関する相談	1,948件

・動物虐待に関する相談	57件
・飼育上トラブル	55件
・その他、動物相談	209件
・その他、事業管理に関する相談・連絡	2,220件

- 動物愛護精神及び法律に則り、必要な場合は専門家の意見も聞き適正な返答を行う(無料)
- 各種相談に応じた資料を整備し、1部送付は無料とする(複数は実費程度寄付)
- △犬猫の飼育に関する資料
- 動物に関連した法律、条例の資料
- 集合住宅でのトラブルや対応策に関する資料
- 神奈川県内の動物関連情報(自治体の取組、各市町村の犬猫処分数リストなど)
- 神奈川県内の動物愛護団体と活動内容リスト
- △動物虐待及び飼育指導など、必要に応じ現地調査・指導を行う(無料)
- 動物の遺棄、処分、飼養不可能な繁殖、安易な譲渡、野良猫の増加等をなくすべく、不妊去勢手術は徹底した指導・説明を行い援助する
- 10/15 保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷自治会話合(ノラ猫苦情対応):区役所、自治会 13名
- 不妊去勢手術を目的としたノラ猫の捕獲のみ捕獲器の貸出す(保証金 7000 円)
 - 捕獲器貸出件数:126件 捕獲器貸出回数:156回
- 不妊去勢手術を目的としたノラ猫の捕獲依頼には、協会内で協力して行う
 - 捕獲代行回数:25回 捕獲手術頭数:33頭(オス:13頭 メス:20頭)
 - (交通費は依頼者に御負担を要請)
- インターネットを活用し、不妊手術の必要性や健康管理の為のワクチン接種など、協会の事業内容と共に掲載していく。

ウ 協会附属動物病院の活動

- 保護収容動物のワクチン接種、フィラリア予防、不妊去勢手術及び健康維持管理
- 譲渡犬猫は駆虫、ワクチン接種、フィラリア予防、不妊去勢手術実施済み証明及び健康面での特記事項があれば明記し添付する
- 犬猫等の傷病治療、不妊去勢手術は施療を念頭に置き実施する(実費程度御寄付)
- 飼い主の判明しない犬猫及びノラ猫の傷病治療、不妊去勢手術を積極的に行う
- ノラ猫の繁殖防止対策として、年間1500匹の不妊去勢手術を目標とする
 - ノラ猫手術数:813頭(オス:325頭 メス:488頭)
 - 郵便助成事業分ノラ猫手術頭数:450頭(オス:193頭 メス:257頭)
 - ノラ猫合計手術頭数:1263頭(オス:518頭 メス:745頭)
- 動物への診療、飼育・衛生(人畜共通伝染病の防止、飼養環境)指導を通して、動物愛護精神及び健やかな動物との共存の普及に努める
- 人畜共通伝染病(狂犬病予防)、動物間での伝染病予防など予防治療を推進する
- 予防治療は収益事業として基本的に有料とする(事情により施療または御寄付)
- 広く一般に予防治療を推進すべく広報を行う
- 「ノラ猫減らし隊賛助会員」の特典としてノラ猫の不妊去勢手術を以下の要領で行う

(会費:5000円 オス猫:4000円 メス猫:5000円)

→賛助会員施術数:550頭 (オス:217頭 メス:333頭)

2. 動物愛護精神普及のための活動

○施設見学・動物愛護研修・ボランティア体験依頼への対応

○施設の見学・ボランティア体験、施設での研修は、目的、内容、人数、日時、団体及び責任者を明記した依頼書を事前に提出、動物愛護の推進となるものについてのみ許可(無料)

○見学・研修・短期ボランティア体験の日は施設の業務に支障のない範囲で行う
見学者数: 199名(以下は団体からの依頼を記載)

2010 4/14 愛知教育大学附属岡崎中学校修学旅行見学:4名

5/1 人と猫の共生を図る対策会議見学:4名

5/15 高木女子学園高等学校見学(総合学習):2名

6/27 関東学院大学学生見学1名

8/24 掛川サポ-ターズクラブ見学(静岡県):18名

9/5 玉川大学卒論研究生見学:1名

9/29 創価大学サークル見学:1名

10/23 法政大学大学院生見学:1名

2011 2/9 相模女子大学附属高等学校見学:5名

実習: 麻布大学動物行動管理学的研究室:2010.11.19(15名)、2010.11.26(18名)

ドイツ大学生1名(フランジスカ・ガブラーさん):2010.2.15~2010.6.15

早稲田大学社会科学部取材:2011.2.3 ジャーナリズム演習ベーシック

法政大学第二高校卒業研究:2011.2.7

中央大学映像取材:2011.2.27

職場体験:0日 0名

ボランティア体験: 0日 0名(青少年協会の夏休みボランティア体験学習が廃止された為)

*但し、一般のボランティア登録者は47名

○施設以外での研修依頼の場合、実費は依頼者の負担とする。目的、内容、人数、

団体及び責任者を明記した依頼書を提出、企画の可否を通知する。(企画は無料)

講義: 麻布大学動物行動管理学的研究室(植竹勝治教授)実習の一環として、麻布大学にて

山田会長・後藤副会長が動物愛護について講義を行った

講演: YOGAと動物愛護(講話会)「日本のペットは幸せですか?」聴講者9名: 講師後藤

3. 動物愛護に関する講習会等の開催

○動物愛護思想の啓発に関する講習会セミナーの開催

「動物愛護管理法改正に向けてのシンポジウム

—私たちが考える動物取扱業の法規制—

■開催日:2010年9月20日(月・祝)

■場所:麻布大学8号館7階 百周年記念ホール

■参加費用:資料代500円

■参加者数:150名(うち麻布生25名)

■主催:財団法人 神奈川県動物愛護協会

■後援:麻布大学／神奈川県

□■□■□■ シンポジウムプログラム ■□■□■□

【午前の部】

10:00～10:15 開会のあいさつ

山田 佐代子((財)神奈川県動物愛護協会会長)

猪俣 智夫(麻布大学獣医学部教授)

10:15～12:00 講演

■「動物愛護管理法改正の方向」

兵藤 哲夫※(獣医師・兵藤アニマルケア代表)

■「米国の動物に関する法律とアニマルポリス」

西山 ゆう子(米国獣医師・Village 動物病院院長)

■「動物愛護管理法をいかに改正・運用すべきか」

細川敦史(THE ペット法塾事務局長・弁護士)

【午後の部】

13:00～14:00 講演

■「動物取扱業の監視指導について」

小林 直人(神奈川県動物保護センター業務課長)

■「ペット業界の裏側」

成田 司(株式会社 コークア社長・元ペット販売業)

■「動物レスキューの現状と法改正に求めること」

渡辺 眞子(作家・動物愛護管理のあり方検討小委員会 委員)

14:00～16:00 パネルディスカッション

パネリスト:

西山ゆう子／細川敦史／成田司／渡辺眞子／

小林直人／中野真樹子(IFAW 日本事務所スタッフ・獣医師)

総合司会: 山田佐代子(本会会長)

※当初、ご講演を予定していた城島光力先生(民主党衆議院議員・犬猫の殺処分を禁止する議員連盟会長)は、開催の前々日(9月18日)に民主党政調会長代理の留任が決まり、会議出席のためご参加頂くことが叶わなかった。

4.犬猫以外の動物への対応

ア アライグマ等について

- 施設で保護できず、飼育許可を得ている役員が保護を行なう個体について、不妊去勢手術、飼料、保護里親探しにかかる費用等は協会にて支出する
→継続保護は役員が経費負担

イ その他の動物に対する相談

- 個々の動物種に対して、役員の中で詳しい人をリストアップし、協会に相談が来た際に担当して頂く
- ・神奈川県外来生物等対策専門部会に委員として山田会長が2回出席(2010.6.4/2011.1.19)

5. 機関誌「動愛だより」の発行

→2010年7月10日に発行(5000部作成)

→2011年1月10日に発行(2000部作成)

- 内容…動物愛護精神の普及啓発と協会活動の報告
- 発行部数等…年間1回以上、2000部以上
- △ 配付先…賛助会員、寄付者、犬猫の保護譲渡先、里親譲渡会、写真展等

6. 協会運営の活性化

ア バザーの開催・参加

○毎月1～2回のバザーの他、施設事務所でも常時バザー用品販売を行う

・六角橋商店街バザー(月1回):227,770円/年

・事務所バザー(常時):278,388円/年

・その他、写真展、動物フェスティバル、大規模フリーマーケットなどでバザーを行った

○バザー用品提供への呼び掛けを行う

○バザー用品提供のチラシを作成、配付

△用品の引取りは依頼があれば車にて伺う

イ 協会グッズの作成

●冊子、絵はがき、Tシャツ、カレンダー、便箋・封筒など、協会の広報の一環として作成

ウ 協会パンフレットの作成配付

→2010年7月12日増刷

○ 内容…協会の説明と活動内容紹介、賛助会員制度の広報、会員拡大

○ 作成部数…4000部

○ 配付方法…動物愛護に感心のある方々(有名人著名人含む)に配付・郵送、各種参加行事での配布、協会活動に賛同する事業所などに置かせて頂く

エ インターネットのホームページでの協会紹介

→2010年12月8日ホームページリニューアル

○ 内容…協会の経緯、施設、現状。寄附・バザー用品の呼掛け、里親探しなど

○ 更新…最低1か月に1回とするが、必要に応じて随時更新する

オ 募金活動

○街頭募金を年2回行う(春・秋)

春: 5月30日(土) 参加者 5名 募金額 36,083円

6月 5日(土) 参加者 15名 募金額 94,027円

6月12日(土) 参加者 12名 募金額 102,122円

秋: 11月 6日(土) 参加者 6名 募金額 100,039円

11月20日(土) 参加者 10名 募金額 70,677円

カ 写真展

○協会活動や現状と保護動物に関する写真展を年1回、2日間行なう

→ 第9回 写真展「小さな命の輝きを見つめて」

日 時:8月20日 18:00~21:00「犬と猫と人間と」映画上映会・飯田監督トークショー
21日、22日 10:00~19:00 写真展

* 14:00~15:00 に渡辺真子さんのトークショーを企画していたが、急病の為、
渡辺真子さんからお借りしたスライド上映を行った。

場 所:かなつくホール(東神奈川駅ビル内)

来場者数:総数248名(20日50名、21日99名、22日99名)

募 金: 80,960円

バザー : 37,045円

協力:映画監督 飯田基晴/作家 渡辺真子/写真家 中川こうじ/

帝京大学動物福祉部活「SWEET HEART~動物の命の大切さを考える部」

○写真展開催の広報活動を充実させる

○写真展の内容がマンネリ化しないように新たな取組を入れる

○入場料無料

キ 渉外活動

●年間5ヶ所以上の企業を訪問し、協会活動への支援を要請する

(協会活動の趣旨に準じた企業、宗教に関係しない企業、法的に問題のない企業等)

→京浜ペットライフサポート、ファミリーホール、人事 AID、水鈴舎(企業賛助会員登録)

●施設保護犬猫の飼料の安定供給のために、関連企業への要請を行う

ク 各種報道を通じての協会の紹介

○取材依頼…報道趣旨が動物愛護に準じ問題のない場合は応ずる

→テレビ:テレビ東京 7/10 放映:協会活動の紹介、犬猫の問題

新 聞:朝日新聞(横浜支局)掲載:12/2 ノラ猫調査関係

ラジオ:レディオ湘南ハッピーサンデー(2/13 生放送)協会活動の紹介

レディオ湘南ハッピーサンデー(3/13、3/27)里親会の紹介

その他:東海大学文学部広報メディア科取材(10/2・10/3・10/6)TV神奈川で放映

→・無料配布誌:ぐらんわん(老犬との暮らしを考える冊子年 4 回発行)

* 2010 年 1 月号から後藤副会長がコラム掲載の継続

○取材要請…協会活動を年間に2回は雑誌、TV、ラジオ等で紹介して頂く

→・9 月 20 日開催の「動物愛護管理法改正に向けてのシンポジウム」について、各紙に取材要請を行った。取材は産経新聞のみ。

産経新聞 9/28 掲載:ペット販売の問題(ヤフーニュース、トップページにも掲載)

・ノラ猫無料不妊キャンペーンの周知について毎日新聞、FM ラジオに要請

毎日新聞、FM サルース(AOBA CONNECTION)、FM やまと(パンドラの箱)にて広報

・FM サルース AOBA CONNECTION のパーソナリティありまゆみこ氏に相談し、番組内で「犬猫悩み相談コーナー」を設けて頂き、11月から月1回程度放送して頂くことになった

・その他

→ 横浜市営バス車内広告掲載(2009.12.26~2010.12.25)

協会の活動紹介とノラ猫の不妊去勢手術及び手術済目印(耳カット)について掲載

・フリーペーパー「ひろたりあん」里親募集記事掲載(2010.8月号から毎月掲載)

ケ イベントへの参加

○ 動物愛護の啓発及び動物愛護啓発を盛込んだ物品販売等による活動費収入強化

→ NPO 法人ベジタリアンフェスティバル実行委員会主催イベントに参加し、活動紹介リーフレット配布を行った

5/1(土)①上記同会主催のウイングス京都で開催された「犬と猫と人間と」の上映会において、飯田基晴監督とともに後藤副会長がトークショーに参加

5/2(日)②Vegan Earth Day 2010にて後藤副会長が講演

・9/25(土)チャリティコンサート(バジル:青葉区):パネル展示・グッズ販売・講話(山田)

・9/26(日)「ディスグッドグジャパン 2010 チャリティ大会」に来賓参加。大会収益金10万円をご寄付頂いた

・3/26(土)「犬と猫と人間と」上映(鎌倉・映画を観る会):講演・バザー・グッズ販売を予定していたが、東北関東大震災の影響で中止。

コ 施設改善

● 犬の吠え声による苦情を解消すると共に、保護動物の状況改善、また老朽化した施設の補修及び円滑な活動为目标とした施設の改善を行う

7. 協力活動

○ 「神奈川県災害時動物救護活動連絡会議」の一員として、大規模災害が発生した場合に被害を受けた動物達の救護活動を行う

○ 動物愛護週間に開催される神奈川県内の行事に参加し、里親探しを通して動物愛護精神の普及並びに啓発活動に寄与する

→ 9/22(水)港北区動物愛護キャンペーン:動物愛護啓発・バザー・グッズ販売

・10/3(日)「横須賀動物愛護フェスティバル」「動物フェスティバル神奈川 in ちがさき・さむかわ」に里親探し及び動物愛護普及啓発活動にて参加

「動物フェスティバル神奈川 in ちがさき・さむかわ」では、動物愛護協会賞として「平塚のら猫を減らす会」代表、小山昇さんを表彰(賞金2万円授与)

○ 大学等の研究機関との連携を図り、動物福祉研究の発展に寄与する。

麻布大学獣医学部動物応用科学科 動物行動管理学的研究室の「イエネコの生息調査」を横浜市神奈川区とも連携し、4月から経年的に行うこととなった。

(注)イエネコとあるが飼育されている猫という意味ではなく、ノラ猫の生息調査である

○ 神奈川県動物愛護推進員に本協会より5名を推薦し、5名とも採用され4月9日に県で委嘱式が行われた。

<推薦者>

- ・財)神奈川県動物愛護協会副会長 後藤章浩氏
- ・NPO 法人キャットネットかまくら代表 村田圭四郎氏
- ・NPO 法人相模どうぶつ愛護の会代表 佐藤桂子氏
- ・NPO 法人アニマルライツセンター理事 宗村りん氏
- ・NPO 法人地球生物会議(ALIVE)理事 宮路正子氏

○神奈川県鳥獣総合対策協議会外来生物等対策専門部会(山田)・サル対策専門部会(後藤)委員